

令和元年度 第2回 「在職者のための定着支援研修会」が終了しました。

当センターでは、企業で働く障がいをお持ちの方を対象とした定着支援研修会を定期的を開催し、ご本人のモチベーションに働きかけることや社内の人材育成を考えていただく機会の一環となるよう、随時企画をしております。その中で、実施当初より参加して下さる方に加え新しく参加される方も増え、参加者の勤続年数やスキルなども異なり、各々が求める内容にも差が見られてきました。参加者からも、基礎的なことを繰り返し学んでいくだけでなく、更なるスキルアップを目指したいというご意見も伺っており、今回は参加者の現状や声を元に、個々のスキルに合わせ学んでいく内容を企画することとなりました。

また、今年度より立ち上げた「雇用促進・就労定着プロジェクト」のメンバーである企業の皆様が運営に加わりました研修を進めました。今後も「在職者のための定着支援研修会」と「雇用促進・就労定着プロジェクト」が連動し、企画・運営にあたります。



今年度第2回目の定着支援研修会は『社内での円滑なコミュニケーションを行うポイント～学ぶことから実践へ～』をテーマに、8月8日(木)ソネビルにて実施致しました。

今回は、基礎的な知識を学び提示された事例について考えていく「①事例検討グループ」と、日々の業務から自身を振り返りグループで意見交換を行っていく「②ディスカッショングループ」の2つから選択し、参加頂きました。また今回は、プロジェクトメン

バーの皆様が各グループ等に入り、アドバイザーとして助言やご意見を下さいました。

「①事例検討グループ」では、前半はコミュニケーションの基礎についての講義、後半は事例検討での意見交換をしました。

講義では、コミュニケーションを行う上での「他者との距離感」について考えていくことを中心に、ポイントとなることや、なぜ職場内で他者との距離感を取りながら仕事をしていくことが必要なのか等を、学んでいきました。

その後の事例検討では、先輩・後輩との距離のとり方や、自身の立ち場でどこまで業務を担ったら良いのか、といった事例についてグループで話し合いました。

今回の①グループでは、基礎的なことを繰り返し学んでいくことが必要と感じている方と、さらに一歩スキルアップを求めている方を対象に参加頂きました。講義では、以前学んだことのある内容だからこそ、積極的に発言をしたり、メモを取り真剣に話を聞こうとする姿等が見られました。

事例検討では、進行役などの役割を参加者の方に担っていただくなど、様々な場面で参加意欲が感じられました。中には今回の事例について具体的なイメージが湧きにくく難しいと感じた方もいらっしゃったようですが、グループに入って下さったプロジェクトメンバーの方のアドバイスも交



えながら進めていくことができました。

「②ディスカッショングループ」では、グループワーク形式での意見交換を行いました。

今回は、社内のコミュニケーションについてのポイントの確認をした後、これまでの業務や日々を振り返り、『自分の成長した点・上手くできるようになった点』を切り口に、ディスカッションをしていきました。

②グループでは、経験年数が積み重なってきたからこそ感じられる葛藤など、自身の考えや気持ちを発信し気づきを得ることを目的に進めていきました。各グループでは活発な意見交換がされ、普段悩み感じていることを実際に言葉に表現し伝えていくということが、経験を振り返る良い機会となっていたり、新たな気づきに繋がっていたのではないかと思います。参加者からは、「具体的に自分の悩みを誰かに伝える機会がなかったため参加できて良かった」という声があったり、プロジェクトメンバーの方からも、「生の声の悩みや気持ちを聞くことが新鮮で良かった」との感想も頂き、今後もこのような機会を作るニーズは多くあるのではないかと感じました。



今年度第2回目が終了しましたが、会を重ねていく中で、多様なご意見が挙げられていたり、必要と感じられている研修内容は様々あるように感じております。今回はこれまでの開催を踏まえ、スキル別にグループを分けて実施し、企業担当の皆様のご協力もいただきながら新たな形での研修を行うことができました。

次回は11月頃に開催を予定しておりますが、内容等については今回の研修等から見てきたものを踏まえつつ、必要な研修を企画・実施していきたいと思っております。是非今後も趣旨を理解頂き、ご参加下さいますようお願い致します。